

2024年2月27日(火)
愛知県企業庁水道部水道事業課
業務・送水グループ
担当 松尾、伊藤
内線 5642、5644
ダイヤル 052-954-6681

水道の管路研修施設の完成及び受水団体との合同研修の実施について

愛知県営水道は、県内に11の浄水場を有し、名古屋市とその周辺の一部及び北設楽郡を除く49市町村(42団体)へ水道用水を供給しており、49市町村の水道水の約7割を占めています。

この度、愛知用水水道事務所尾張旭出張所(尾張旭市)の敷地内にある「水道災害活動拠点」(2023年3月完成)に隣接して整備を進めてきた「管路研修施設」が2024年1月31日(水)に完成したことから、尾張旭出張所管内の受水団体(県水道北部ブロック協議会)との合同研修を下記のとおり行うこととしました。

「管路研修施設」は、水道職員の人材育成や技術継承を目的として整備したものであり、合同研修では、地震災害時の管路の調査・復旧に必要となる漏水探知機による漏水探査などを行います。

記

1 受水団体との合同研修

- (1) 研修名 愛知用水水道事務所・県水道北部ブロック協議会合同研修
- (2) 日時 2024年2月29日(木) 午後1時30分から午後4時まで
- (3) 場所 愛知用水水道事務所尾張旭出張所(尾張旭市旭ヶ丘町森:別図参照)
- (4) 参加機関 企業庁 : 愛知用水水道事務所尾張旭出張所
受水団体 : 県水道北部ブロック協議会
(尾張旭市、春日井市、瀬戸市、愛知中部水道企業団の4団体)
20人程度
- (5) 研修内容 漏水探知機による漏水探査、水道管の充水、洗管する際の流量設定、応急給水のための空気弁へのホース等接続などを行う。



【漏水探知機による漏水探査】

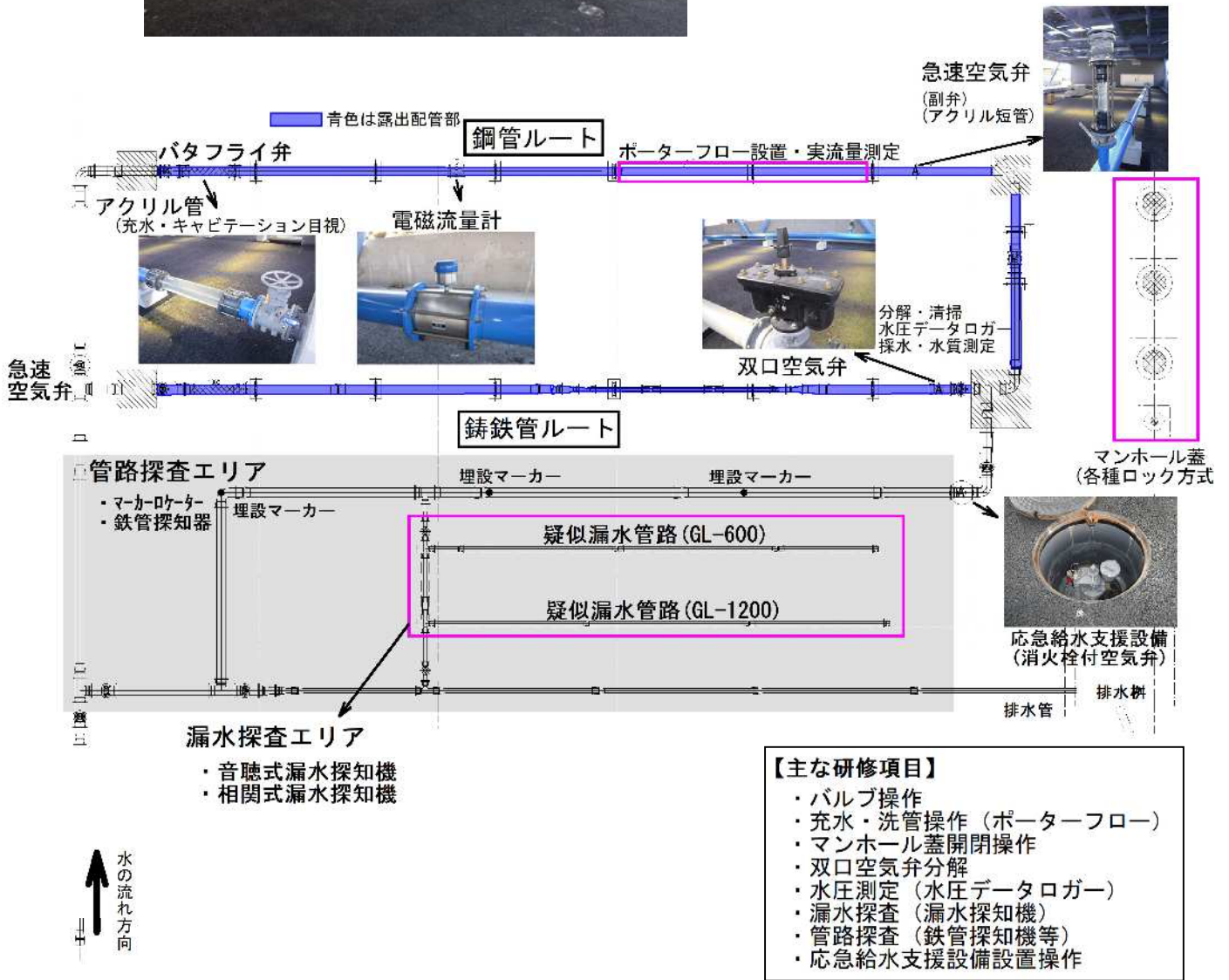


【透明管による充水状況の確認】

2 施設概要図

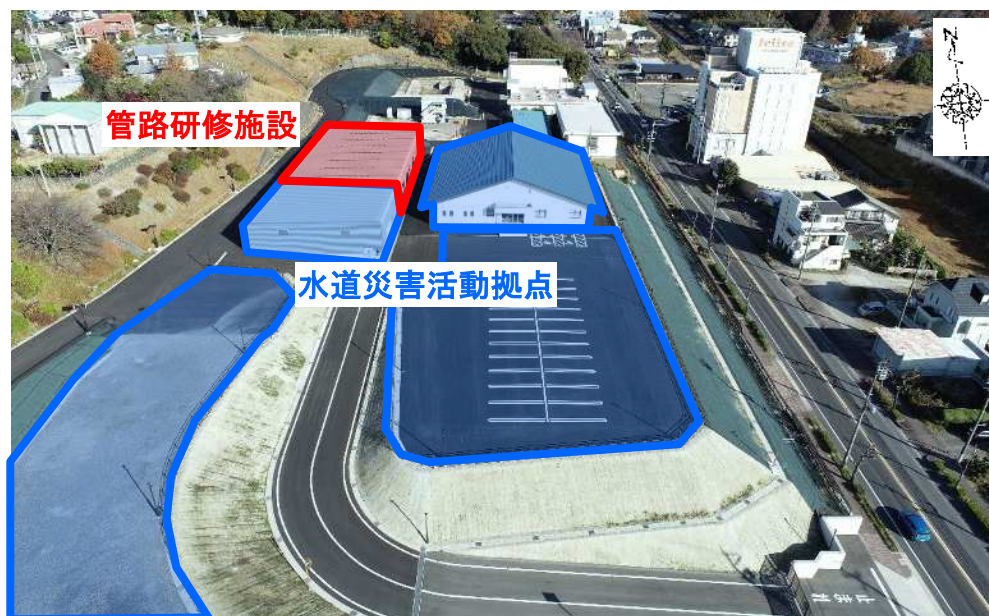


管路研修施設全景

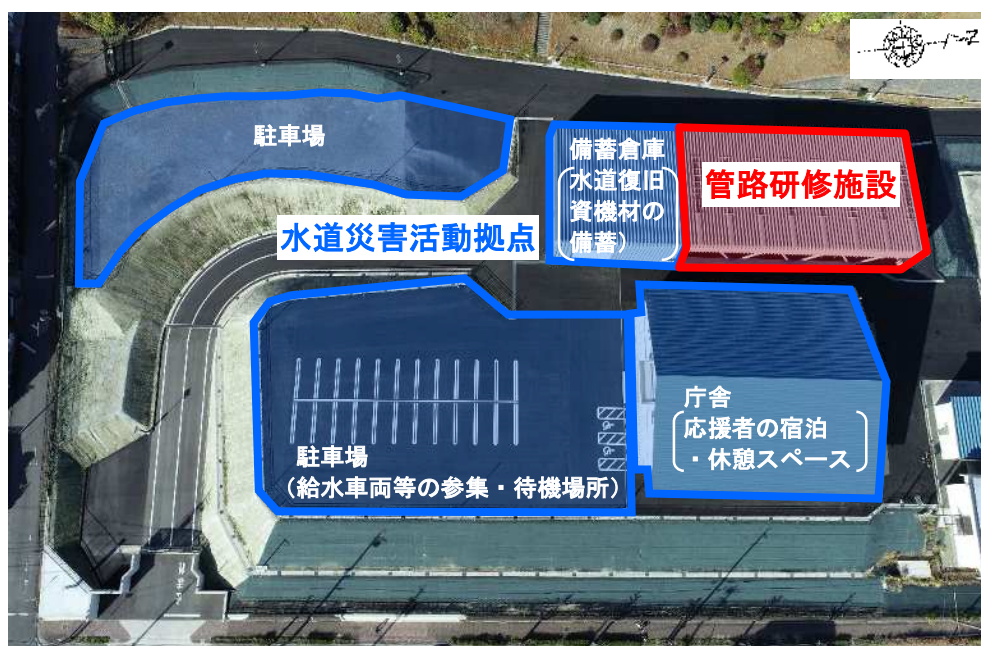


管路研修施設概要図

3 施設配置



愛知用水水道事務所尾張旭出張所全景



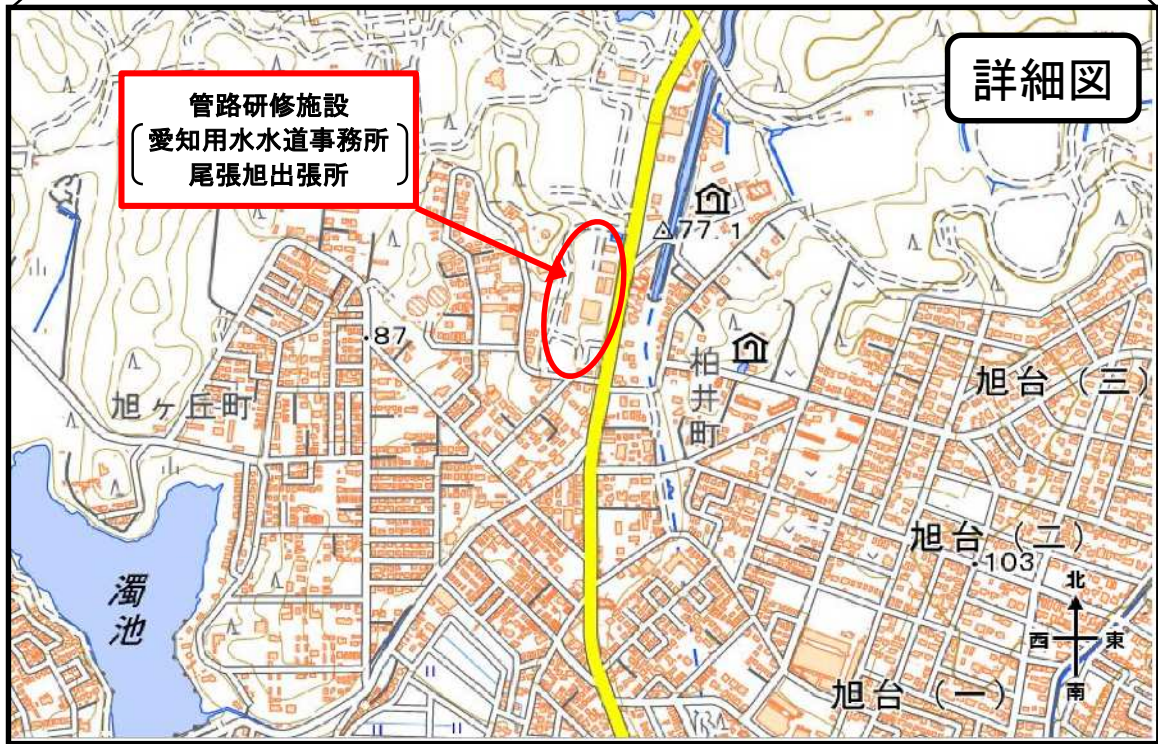
施設配置

○水道災害活動拠点について

広域かつ大規模な災害が発生した場合には、応急給水、応急復旧活動に従事する全国からの応援者の受入れが必要となります。

このため、企業庁は、地震防災対策実施計画において、応援者の宿泊・休憩スペース（2018年8月完成）、給水車両等の参集・待機場所及び水道復旧資機材の備蓄倉庫（2023年3月完成）を確保することとし、それらを備えた水道災害活動拠点を整備しました。

管路研修施設 位置図



※ 背景地図は、国土地理院の地理院地図を使用

(参考) 県水道北部ブロック協議会は、尾張旭市(会長)、春日井市、瀬戸市、愛知中部水道企業団の4受水団体で構成し、水道事業の円滑なる推進を図ることを目的に、1970年に設立された協議会です。